

JSAF 派遣生 留学レポートより

先輩はカンタベリー大学でこんな授業を受けています！

University of Canterbury(ニュージーランド・クライストチャーチ) |

2024 年春・2025 年春派遣生の履修科目紹介

「留学中、実際にどんな授業を受けるの？」——参加を検討中の皆さんから一番多く寄せられる質問です。このページでは、カンタベリー大学へ派遣された 4 名の先輩の最終留学レポートから、履修した全科目を授業内容・先輩のリアルな感想とともにご紹介します。

国際関係学、社会言語学、社会学、マオリ文化、教育学、経営学、マーケティング——ニュージーランドならではのマオリ文化・社会に関する科目から実践的なビジネス科目まで、幅広い分野から選べるのがカンタベリー大学の魅力です。大人数のレクチャーに加え、「チュートリアル」と呼ばれる少人数・ディスカッション中心の授業がセットになっているのが特徴です。

◆ 先輩レポート 1 経営学部でビジネスを実践的に学んだ先輩の履修科目

在籍：東京理科大学 経営学部(2025 年春派遣) | 経営学とマーケティングを集中的に履修

MGMT100 Fundamentals of Management (15 単位)

履修した先輩	東京理科大学 経営学部 国際デザイン経営学科の先輩
授業形式	対面・オンラインのレクチャー＋ワークショップ
評価方法	毎週のオンライン小テスト 30%、毎週のワークショップ課題 30%、最終試験 40%
どんな授業？	経営組織を運営する際の基本となる理論を学びます。毎週のワークショップでは、前の週に習った理論をグループワークで実践的に理解します。
先輩の声	ワークショップは毎回異なる人と組むグループワークだったので、知らない人と話せたり、仲のいい友達ができたりしたのが楽しかったです。また、週に 1 回先生や他の生徒となんでも話せるカフェセッションがあり、ネイティブスピーカーと話す機会を増やすために時々参加していました。

MKTG100 Principles of Marketing (15 単位)

履修した先輩	東京理科大学 経営学部 国際デザイン経営学科の先輩
授業形式	レクチャー・チュートリアル
評価方法	チュートリアル出席 10%、ケース分析レポート 2 本 25%、中間テスト 25%、最終試験 40%
どんな授業？	マーケティングミックスに関する理論を学びます。1200～1600 ワードのケース分析レポートに取り組みます。
先輩の声	試験が二つあったので忙しかったです。覚えることがたくさんあって大変でしたが、マーケティングを学ぶ上では非常に役に立つと感じたので取って良かったと思います。

MKTG201 Marketing Management (15 単位)

履修した先輩	東京理科大学 経営学部 国際デザイン経営学科の先輩
授業形式	レクチャー
評価方法	状況分析 & 製品提案レポート 25%、マーケティング計画(レポート 25% + 動画プレゼン 10%)、最終試験 40%
どんな授業？	新商品を提案する際のステップ、分析ツールの使い方、レポートの書き方を学びます。実際に自分で新商品を企画・提案します。
先輩の声	提案する新商品を細部まで考え込まなければならなかったので時間がかかり、いい成績を取るのが難しかったです。しかし、時間をかけた分、レポートを提出した際はとても達成感がありました。

MKTG204 Consumer Behaviour (15 単位)

履修した先輩	東京理科大学 経営学部 国際デザイン経営学科の先輩
授業形式	レクチャー
評価方法	個人レポート 30%、グループ課題(レポート + 動画プレゼン 5～10 分)30%、最終試験 40%
どんな授業？	消費者行動に関する理論と、マーケティングミックスへの応用例を学びます。後半はグループワーク中心です。
先輩の声	講師が理論の応用例を多く示してくれたので、授業を聞くのが楽しかったです。後半のグループワークでは非常に良いメンバーに恵まれたので、仲が良くなり成績も良かったです。

◆ 先輩レポート 2 ニュージーランド社会・マオリ文化を深く学んだ先輩の履修科目

在籍:立教大学 社会学部(2025 年春派遣) | 社会学、マオリ文化、言語学を履修

SOCI209 Te Tiriti: The Treaty of Waitangi (15 単位)

履修した先輩	立教大学 社会学部 現代文化学科の先輩
授業形式	レクチャー・チュートリアル
評価方法	オンラインテスト 20%、レポート 30%、テスト 40%、チュートリアル出席 10%
どんな授業？	ニュージーランド建国の基礎となったワイタング条約の内容と、条約によってニュージーランドがどのように変化していったかを学びます。
先輩の声	ニュージーランドの歴史を知らなかったので事前知識がなく苦労した。その一方で初めて知ることが多く(ワイタング条約は英語版とマオリ語版があり、内容が違っているなど)、とても興味深かった。

SOCI112 Global Society (15 単位)

履修した先輩	立教大学 社会学部 現代文化学科の先輩
授業形式	レクチャー・チュートリアル
評価方法	チュートリアル出席・参加 10%、オンラインクイズ 2 回 20%、エッセイ 30%、ホームテスト 40%
どんな授業？	グローバル化による世界の不均等、SNS のリスクなど、現代社会の問題について幅広く学びます。
先輩の声	今まで日本の大学では日本が抱える社会問題を中心に学んできたため、ニュージーランド特有の社会問題、移民問題や若者の流出入などを学ぶことが出来て、とても興味深かった。

MAOR165 Tuakiri: Culture and Identity (15 単位)

履修した先輩	立教大学 社会学部 現代文化学科の先輩
授業形式	レクチャー・チュートリアル
評価方法	マオリ語での自己紹介動画(Pepeha)20%、批評レスポンス 20%、オンラインクイズ 10%、比較分析 40%、チュートリアル出席 10%
どんな授業？	ニュージーランドの歴史と、マオリの人々が抱える問題(歴史に由来する差別、教育・経済的格差)について学びます。
先輩の声	ニュージーランドの歴史の事前知識がなく授業についていくのが大変だった。一方でマオリ語での Pepeha(自己紹介)は自分の地元・ルーツをマオリ語で紹介するもので、マオリ語を少し学ぶことが出来て楽しかった。

LING102 Language and Society in New Zealand (15 単位)

履修した先輩	立教大学 社会学部 現代文化学科の先輩
授業形式	レクチャー・チュートリアル
評価方法	クイズ 30%、文献レビュー30%、リサーチレビュー40%
どんな授業？	多民族国家であるニュージーランド社会でどの言語の力が強いのか、マオリ語の普及状況などを学ぶ言語学の授業です。
先輩の声	取った授業の中で一番興味深い授業だった。英語を学んでいる自分にとって、アクセントによってその人の社会的地位や出身、相手に対しての態度がわかるという話はとても興味深かった。

◆先輩レポート 3 国際関係・国際社会を学んだ先輩の履修科目

在籍：東京女子大学 現代教養学部（2024 年春派遣） | 国際関係学、言語学、社会学を履修

POLS104 Introduction to International Relations (15 単位)

履修した先輩	東京女子大学 現代教養学部 国際社会学科の先輩
授業形式	レクチャー・チュートリアル
評価方法	チュートリアル出席 15%、毎週のリーディングクイズ 20%、エッセイ 40%、最終テスト 25%
どんな授業？	国際関係の入門クラス。国際関係の歴史から、国際関係の中心にある問題、国際問題を考えるうえで重要な理論まで幅広く学びます。
先輩の声	専門用語が多い科目なので、単語の意味を理解するのがとても大変だった。ただ、日本の大学ですでに学んでいること、興味がある科目であったこと、授業の内容が非常に興味深かったこともあり、とても楽しく勉強することができた。

LING102 Language and Society in New Zealand and Beyond (15 単位)

履修した先輩	東京女子大学 現代教養学部 国際社会学科の先輩
授業形式	レクチャー・チュートリアル
評価方法	毎週のリーディングクイズ 40%、文献レビュー 20%、リサーチレポート 40%
どんな授業？	社会言語学の授業。前半は言語と社会の関係について、後半はニュージーランドにおける英語とマオリ語の関係について学びます。
先輩の声	言語が社会とどのように関わりながら発展していくのか学ぶことができ楽しかった。英語とマオリ語の関係を様々な観点から学ぶことで、ニュージーランドの言語文化について理解を深めることができた。チュートリアルの先生が親身になってくれたので、分からないことをすぐ質問でき助かった。

SOCI112 Global Society (15 単位)

履修した先輩	東京女子大学 現代教養学部 国際社会学科の先輩
授業形式	レクチャー・チュートリアル
評価方法	チュートリアル出席 10%、オンラインクイズ 20%、エッセイ 30%、ホームテスト 40%
どんな授業？	国際社会の仕組みや形成されていく過程を学びます。文化や民族の融合、グローバル化の過程、シュンペーターの「創造的破壊」の概念などを詳しく扱います。
先輩の声	レクチャーで提示された問題についてチュートリアルでディスカッションすることが多かった。世界各国の国際問題だけでなくニュージーランド国内の問題も取り上げられていたため、現地生の考えを直接聞くことで実際の意見を知ることができ、ニュージーランドについて学びを深めることができた。

◆ 先輩レポート 4 言語・教育・マオリ文化を学んだ先輩の履修科目

在籍：青山学院大学 文学部（2024 年春派遣） | 言語学、教育学、マオリ文化を履修（全科目 A 評価以上！）

LING102 Language and Society in New Zealand and Beyond （15 単位）

履修した先輩	青山学院大学 文学部 英米文学科の先輩
授業形式	授業 2 コマ+チュートリアル 1 コマ
評価方法	オンラインクイズ 10 回 40%、中間レポート 20%、期末レポート 40%
どんな授業？	社会言語学と、マオリ語の特徴について学びます。最終レポートでは Excel を使ったデータ分析にも取り組みます。
先輩の声	授業内容が日本の大学のゼミで学んでいた内容と似ていたため、理解がしやすかった。最終レポートはデータの分析でエクセルを使う作業が多く、慣れていないため大変だった。

EDUC101 Spark! The Art & Science of Learning （15 単位）

履修した先輩	青山学院大学 文学部 英米文学科の先輩
授業形式	レクチャー2 コマ連続
評価方法	オンラインクイズ 3 回 30%、ミニレポート 8 回 30%、期末エッセイ&ノート提出 40%
どんな授業？	教育の歴史、「教育とは何か」、子どもへの教え方について学びます。
先輩の声	授業が二コマ連続で行われるため、他の授業よりも時間が長くて少し大変だった。参加人数が少なく、先生が名前を覚えてくれたのが嬉しかった。

MAOR165 Tuakiri: Culture and Identity （15 単位）

履修した先輩	青山学院大学 文学部 英米文学科の先輩
授業形式	レクチャー2 コマ+チュートリアル 1 コマ
評価方法	動画課題 20%、中間エッセイ 20%、オンラインテスト 10%、チュートリアル出席 10%、期末エッセイ 40%
どんな授業？	マオリ語やマオリ文化、ニュージーランドの文化とアイデンティティについて学びます。マオリ語で音声を入れる動画課題もあります。
先輩の声	最初にマオリ語で音声を入れる動画課題があり、難しかったがマオリ形式の自己紹介を学ぶことができた。ハカも教えてくれたため、マオリの文化を学ぶことができて興味深かった。

先輩が感じた、ニュージーランドの授業のここがすごい！

「一週間の中で一つの授業が複数回のレクチャーやワークショップ・チュートリアルに分かれているのが日本の大学との大きな違いだと思います。グループワークでは前の週に習った理論をケーススタディをもとに実践的に理解することができ、復習する機会が授業に組み込まれています。学生がより積極的で、大人数の講義でも皆の前で堂々と発言したり、グループワークで他の人の分も手伝ったりしていました。」

—— 2025 年春派遣・東京理科大学の先輩

「大人数での講義だけではなく、チュートリアルといって少人数、ディスカッション中心の授業があります。授業後に積極的に生徒が先生に感想や疑問点を聞きに行っているのをよく見ました。」

—— 2025 年春派遣・立教大学の先輩

「日本の大学と比べて課題がとにかく多かった。一つひとつの比重が重いだけでなく毎週提出するものも多かったので、ほぼ毎日図書館で勉強していた。レクチャーはすべて録画されているため、オンラインで視聴したり復習でもう一度見ることもできて便利だった。学生も勉強熱心な人が多く、図書館はいつ行っても混んでいた。」

—— 2024 年春派遣・東京女子大学の先輩

「すべてのレクチャーにレコーディングがあることが特徴的だと感じた。レクチャーの中でも周りの人と話し合う時間が多かった。授業中に自分の意見を堂々と言う現地学生の姿は、日本ではあまり見られない光景であるため新鮮だったし、大人数の前で意見を言えるのはすごいと思った。」

—— 2024 年春派遣・青山学院大学の先輩

※ 本ページの内容は 2024 年春・2025 年春派遣生の最終留学レポートに基づいています。開講科目・評価方法は年度により変わる場合があります。

※ カンタベリー大学では 1 科目＝15 単位(ポイント)で、1 学期に 3～4 科目を履修するのが一般的です。